

西原中学校PTAについて（お願いです）

西原中学校PTAは、令和6年2月開催の本部会にて協議を行い、今後のPTA活動をスリム化し、「西原☆フェスティバル」と「学校活動の援助」を中心に活動する方向性で決定致しました。（令和6年5月の総会で会員様のご承認を頂く流れです）

本年度もPTA内の交流事業はすべて休止し、子どもたちが不自由なく学校生活を送れることを主眼に活動しております。とりわけ、学校活動においては学校行事および部活動に以前より人手とお金がかかる状況となっております。

保護者の皆様は、「PTA」という名前に様々な印象をお持ちかもしれません。ぜひ、「PTA」を「子どもが成長するための学校活動援助」と読み替えて、加入をご検討くださいますようお願い致します。

～PTAがいまだに活動しなければならない背景（西原中学校の場合）～

1. 人手不足について

現在、全国的に小学校・中学校・高校の教職員数が不足していると言われていています。西原中学校も授業を除けば例外ではなく、特に学校行事においては、先生方だけでは運営しきれないのが現状です。

そのため、学校行事においては、PTAのお手伝いが必要となります。行事開催の都度ボランティアを募り充足できれば良いですが、ボランティアを集める係や運営方法を教える係など、やはり、運営方法を引き継げるPTA体制が現在のところ必要です。

2. 学校活動・部活動への援助について

さいたま市からの学校予算は限られ、学校活動および部活動にはPTAから活動のための援助金をお渡ししています。

PTA会員の皆様からお預かりする大切なお金は、PTA自身のために使うのではなく、生徒たちが少しでも不自由を感じずに学校生活を送れるように使用しています。

今後も物価高騰により例年に増して費用がかかることが想定されます。学校生活に不自由をきたす状況とならないよう、物的支援を行っています。

～PTA会員が減少することについて～

PTA会員が減少すると、必然的にPTA予算は減少していきます。

前述した通り、PTA予算はPTA内の活動ではなく、生徒たちの学校生活のために使用しています。

そのため、PTA会員数が減少すると、生徒たちへの補助が縮小されることとなります。

PTAは加入が任意のものであり、非加入であって不利益を被ることはありません。ただし、別の見方をすると、PTA会員の会費によって、PTA非会員のお子様たちも学校生活を不自由なく送ることができています。生徒数に対して、支える側（会員）が少なくなることにより、生徒に対して援助できるものも少なくなっていく可能性があります。

～「PTA会員＝役員を避けられない」について～

PTAに加入すると、会員の中から役員が選ばれPTAを運営します。これまで多くの会員様が自薦・他薦あるいはくじ引きで役員を担当してこられました。

しかし、時間の調整が難しい方、さまざまなご事情をお持ちの方など、各ご家庭で役員を受けることが現実的に困難であることも先般実施したアンケートでよく理解ができ、本部会でも協議致しました。

その結果、ご事情のある方、どうしても役員になれない方は、「役員辞退」の選択肢も設けることと致しました。この場合、「人的支援」ではなく、「物的支援（会費）」という意味合いでのご加入となります。

もちろん、全員が「役員辞退でのご加入」という選択肢を選んだ場合には、PTA会費の集金さえ不可能な状況となりますので、どうしてもできない理由をお持ちでない方々には、どうか「子どもたちのために」PTA役員というボランティアもご検討いただきたく、何卒よろしくようお願い致します。

～ 令和6年度 西原中学校PTAの改革案 ～

1. 子どもの成長に寄与する事業 → スリム化して継続します。（西原☆フェスティバル）
2. PTA内の交流事業 → 休止し、その後も影響がなければ今後廃止します。
3. 学校活動援助 → 生徒の学校生活に不自由をきたさないよう継続および強化していきます。
4. PTA役員のスリム化 → 活動内容の縮小に伴い、本部役員および委員会役員数を削減していきます。
(ア) 本部役員 会長を除く本部役員12人を10人に削減。
学校行事のお手伝いがあるため、一人一人の負担が増えないよう考慮した人数です。
(イ) 各委員会 PTA活動縮小により、人数の削減をしていきます。
対象：広報委員会、校外指導委員会
※PTA全体会にて、委員会内の全学年保護者で協議（もしくはくじ引き）して頂く予定。